

CSSセレクトタ例

*（全称セレクトタ）

* { プロパティ:値; }

要素型セレクトタ

p { プロパティ:値; }

classセレクトタ

<p class="text">テキスト</p>

p.text { プロパティ:値; } または .text { プロパティ:値; }

IDセレクトタ

<div id="contents">内容</div>

div#contents { プロパティ:値; } または #contents { プロパティ:値; }

子孫セレクトタ

<div id="box"><p class="text">テキスト</p></div>

div#box p.text a { プロパティ:値; } や #box .text a { プロパティ:値; } など

子セレクトタ

<dl class="list">
<dt>商品名</dt>
<dd>
<dl>
<dt>商品画像</dt>
<dd>商品説明</dd>
</dl>
</dd>
<dt>商品名</dt>
<dd>商品説明</dd>
</dl>

CSS

dl.list > dt { font-weight: bold; }

商品名
商品画像
商品説明
商品名
商品説明

SAMPLE

隣接セレクトタ

<h4>タイトル</h4>
<p>テキスト1</p>
<p>テキスト2</p>

CSS

h4 + p { font-weight: bold; }

タイトル
テキスト1
テキスト2

SAMPLE

擬似クラス

擬似クラスは指定したものの全体に影響を与えるもので、文書構造の範囲外にある情報や単体セレクトタで表現できないものを選択するために導入された概念です。

▶a:link

ユーザーがリンク先にまだ未訪問の場合に対する設定です。

▶a:visited

ユーザーがリンク先に訪問済みの場合に対する設定です。
※設定できるプロパティは、主に色に関する設定だけに仕様変更されました。

▶要素名:hover

要素に拠って生成されたボックスにカーソルを重ね合わせた時に適用できます。

使用できる要素はaタグだけではありません。※ただしIE6はaタグのみ使用可。

<table><tr>
<td>1</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
</tr></table>

CSS

td:hover { background: #999; }

123

SAMPLE

▶要素名:active

ユーザからの働きかけを受けてアクティブ状態にある要素に適用されます。

たとえば、マウスのボタンを押してから放すまでの間など。

▶要素名:focus

ユーザの操作によりフォーカスされている要素に適用されます。

▶要素名:first-child

<ul class="list">
リスト1
リスト2
リスト3

CSS

ul.list li:first-child { font-weight: bold; }

• リスト1
• リスト2
• リスト3

SAMPLE

▶要素名:nth-child(n)

nの部分は以下のように複数指定することもできます。

	設定可能種類例
:nth-child(n)	n番目の要素に適用
:nth-child(odd)	奇数番目の要素に適用
:nth-child(2n+1)	奇数番目の要素に適用
:nth-child(even)	偶数番目の要素に適用
:nth-child(2n)	偶数番目の要素に適用
:nth-child(3n)	3,6,9,12…番目の要素に適用
:nth-child(3n+1)	1,4,7,10…番目の要素に適用

<ul class="nthList">
リスト1
リスト2
リスト3
リスト4
リスト5
リスト6
リスト7

CSS

ul.nthList li:nth-child(even) { color: #00f; }
ul.nthList li:nth-child(3n) { font-weight: bold; }

• リスト1
• リスト2
• リスト3
• リスト4
• リスト5
• リスト6
• リスト7

SAMPLE

擬似要素

文章の1文字目、1行目など、要素の一部に対して影響を与える事ができるのが擬似要素になります。前述の通り：(コロン)は2つつけます。

▶要素名::first-line

<p class="text1">サンプルテキスト
さんぶるてきすと</p>

CSS

p.text1::first-line { font-weight: bold; }

サンプルテキスト
さんぶるてきすと

SAMPLE

▶要素名::first-letter

<p class="text2">サンプルテキスト</p>

CSS

p.text2::first-letter { font-size: 300%; }

サ
ンプルテキスト

SAMPLE

▶要素名::before

<p class="text3">サンプルテキスト</p>

CSS

.text3::before { content: "■";}

■サンプルテキスト

SAMPLE

▶要素名::after

<p class="text4">サンプルテキスト</p>

CSS

.text4::after { content: "■";}

サンプルテキスト■

SAMPLE

疑似クラスと疑似要素の組み合わせ例

疑似クラスと疑似要素を組み合わせতে定義する際は、疑似クラスが前で疑似要素が後に来るように記述して設定します。

<ul class="cList">
リスト1
リスト2
リスト3
リスト4
リスト5
リスト6

CSS

ul.cList li:nth-child(2n)::before { content: "▼"; }
ul.cList li:nth-child(3n)::after { content: "▲"; }

• リスト1
• ▼リスト2
• リスト3▲
• ▼リスト4
• リスト5
• ▼リスト6▲

SAMPLE

隣接セレクトタと疑似要素の組み合わせ例

<ul class="textNav">
リスト1
リスト2
リスト3

CSS

.textNav li { list-style: none; display: inline; }
.textNav li + li::before { content: " | "; }

リスト1 | リスト2 | リスト3

SAMPLE

contentプロパティの使用例

<dl class="agreement">
<dt>利用登録</dt>
<dd>登録希望者が当社の定める方法によって利用登録を申請し、当社が…</dd>
<dt>ユーザーIDおよびパスワードの管理</dt>
<dd>ユーザーは、自己の責任において本サービスのユーザーIDおよび…</dd>
<dt>禁止事項</dt>
<dd>ユーザーは、本サービスの利用にあたり、以下の行為を…</dd>
</dl>

CSS

.agreement dt { counter-increment: number; font-weight: bold; }
.agreement dt::before { content: "第" counter(number) "条"; margin-right: 1em; }

第1条 利用登録
登録希望者が当社の定める方法によって利用登録を申請し、当社が…
第2条 ユーザーIDおよびパスワードの管理
ユーザーは、自己の責任において本サービスのユーザーIDおよび…
第3条 禁止事項
ユーザーは、本サービスの利用にあたり、以下の行為を…

SAMPLE

おまけ

<p class="text-ov">横幅を基準に、テキスト量が表示領域を超えた場合、全文を表示せずに省略した形で文字表示をする事が出来る設定です。</p>

CSS

.text-ov { white-space: nowrap; overflow: hidden; text-overflow: ellipsis; }

横幅を基準に、テキスト量が表示領域を超えた場合、全文を表示せずに省略した形…

SAMPLE

CSSの詳細度と優先順位

セレクトタに対するCSSでの同一プロパティの設定は、基本的に後から記述したものが優先されて効く傾向があります。

しかし、CSSのセレクトタには詳細度というものがあり、数値によってCSSの優先順位を確認する事が出来ます。

それぞれのセレクトタによる数値は以下になります。

	詳細度
* (全称セレクトタ)	0
要素(タグ)	1
class	10
id	100
style属性(タグに直接記述)	1000

上記の数値を例に詳細度の計算例を挙げていきます。

<div id="box">
<p class="text">リンクへ</p>
</div>

HTML

p1
p a2
p.text a12
div#box p102
#box .text a111

詳細度

実際に以下のCSSを記述すると、どのセレクトタの設定が優先されるか見てみます。

#box .text a { color: #0f0; }
.text a { color: #00f; }
p a { color: #ccc; }
div a { color: #333; }

CSS

リンクへ

SAMPLE

いくら後からターゲットであるaタグに同一プロパティの上書き設定変更をかけても、詳細度が一番高い最初のセレクトタが優先的に効きます。